

後志森林管理署
寿都町 産業振興課農政係

業務グループ 大川 直文
農政係長 土開 直樹

取り組みの背景

寿都地域では、森・川・海のつながりを考え、一体感のある森林整備を推進していく必要があることから、平成25年に寿都町、南しりべし森林組合、寿都町漁業協同組合、後志森林管理署、後志総合振興局の五者が推進協定を締結し、森林整備に取り組んできました。

取り組みの内容・成果

①共同施業団地の設定と森林整備

・3つの共同施業団地（寿都・歌棄・磯谷）を設定し、間伐等の森林整備を行いました。

寿都地域共同施業団地位置図

寿都団地

歌棄団地

磯谷団地



共用土場

<寿都団地路網図>

②路網の整備

・森林整備を効率的に行うため、国有林と民有林の林道を連結することとし、路網を作設しました。
また、民国それぞれが共用土場を設置・相互利用することにより、搬出にかかるコストの縮減が可能となりました。

・所管を超えた林内路網図を作成し、GISデータをリンクさせることで、森林整備実施計画を検討するための足がかりになりました。

この取り組みは後志管内の市町村に波及し、市町村森林整備計画の作成にも活用されています。



<路網整備の現地踏査>

③将来を担う子ども達に向けた学習活動

・海と森をフィールドとした生き物探しや”海の堆肥工場”見学を通じて、森・川・海のつながりの一端を学習する「お魚はぐくむ海と森探検隊」を開催しました。



<親子で海の生き物探し>

今後の展開

現行の協定期間は平成29年度末で満了するものの、森・川・海のつながりを更に深めることができるよう協定を延長し、ドローン等の新技術を導入しつつ、五者が協働しながら取り組みを発展・継続していきます。